

記録
映画

「ヒロシマの校庭から届いた絵」

特別
試写会

Documentary Film Sneak Preview (work-in-progress)

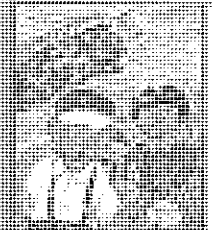
Pictures from a Hiroshima Schoolyard

2012年11月30日

「ヒロシマの校庭から届いた絵」広島展示を
実現させる会 実行委員会事務局
世良 俊邦



日本
の
國
紅十字会





65年前の
相互交流



2年前の里帰り展示会
【2010年7月31日～8月9日】



記念式典



展示会

1. 事業の名称

記録映画「ヒロシマの校庭から届いた絵」特別試写会

2. 実施時期及び実施期間

招待試写会；平成24年7月26日(木)13:30～16:30

特別試写会；平成24年8月1日(水)16:30～21:00

3. 実施場所

招待試写会；広島市まちづくり市民交流プラザ

特別試写会；広島平和記念資料館東館メモリアルホール

4. 実施主体

「ヒロシマの校庭から届いた絵」広島展示を実現させる会（広島市立本川小学校同窓会）

5. 事業の目的

平成22年夏の「ヒロシマの校庭から届いた絵」広島展示会の継続事業として、2006年の再発見から2010年の里帰り展示会までを追った記録映画「ヒロシマの校庭から届いた絵」の試作版を、2013年春のカンヌ国際映画祭出品前に日本では広島だけで特別試写会を開催して、65年前の日米平和交流の尊さを広く市民に伝え、日米の子供達の友好親善を図る。

そして
2012年夏の
特別試写会

6. 実施内容

(1) 記録映画「ヒロシマの校庭から届いた絵」招待試写会(7月26日)

- 作品制作者(16名)と2010年夏の里帰り展示会協力者(30余名)を招待
- 制作者(重藤マナーレ静美氏)の記者会見(テレビ局3社と新聞社8社)
- 制作者の自費出版本「48色の夢のクレヨン～ヒロシマからワシントンDCに届いた絵～」を来場者に贈呈

(2) 記録映画「ヒロシマの校庭から届いた絵」特別試写会(8月1日)

- 一般市民向けの試写会は2回実施
 - 1回目;17:00～18:40、鑑賞者は約250名
 - 2回目;19:15～20:55、鑑賞者は約50名
- All Souls Unitarian教会のRobert Hardies牧師とCharles Wooldridge代表および制作者の紹介
- 広島展示会平和文化センターのリーパー理事長挨拶(2回目)

プログラム

氏名	所属	氏名	所属
重藤マナーレ静美	制作者	Robert Hardies	All Souls Unitarian Church 牧師
...	...	Charles Wooldridge	All Souls Unitarian Church 代表
...	...	リーパー	広島展示会平和文化センター 理事長

制作者の自費出版本

48色の夢のクレヨン

48色の夢のクレヨン
～ヒロシマからワシントンDCに届いた絵～

7.実施効果

- 映画鑑賞された多くの方達から素晴らしい記録映画である。大変感動したとの称賛の声を頂いた。
- 不明者2名(杉岡 裕康 様、横田 英二 様)の消息が判明した。【制作者48名中34名の所在を確認】
- 招待試写会と特別試写会に欠席の制作者32名には、特別試写会のプログラムと制作者の自費出版本「48色の夢のクレヨン〜ヒロシマからワシントンDCに届いた絵〜」を後日配布した。
- All Souls Unitarian教会は本川小学校との永続的な親善交流活動を希望され、8月2日本川小学校を訪問した。
出席者;河野 一則校長、Robert Hardies牧師、Charles Wooldridge代表、重藤マナーレ静美氏、実行委員会と同窓生8名
- All Souls Unitarian教会のRobert Hardies牧師とCharles Wooldridge代表、重藤マナーレ静美氏が8月1日(水)午後広島市長を表敬訪問。
- 8月9日重藤マナーレ静美氏が駐大阪・神戸アメリカ総領事館を訪問し、総領事を始めとする館員に特別試写会上映のDVDを鑑賞して頂いた。



2012年7月27日
中国新聞



2012年7月27日毎日新聞



2012年8月5日
中国新聞

8. 予算と決算

収入

科目	当初予算	最終予算	説明
1.補助金	150,000	50,000	(公財)広島平和文化センター 平成24年度上期国際交流・協力活動振興補助金
2.助成金	100,000	150,000	(財)広島国際文化財団平和創造基金 「ヒロシマピースグラント2012」
合計	250,000	200,000	

支出

科目	当初予算	最終決算	説明
1.会議費	8,000	10,920	社協会長との協議；990円、交流プラザ使用料；9,930円
2.資料印刷費	118,000	69,250	PRチラシ印刷費；33,000円、プログラム印刷費；26,250円 デザイン制作費；10,000円
3.上映会場使用料	54,000	72,430	メモリアルホール使用料；40,930円、DVD化；31,500円
4.事務・通信費	20,000	47,400	郵送料；22,790円、事務用品；3,411円、制作者への本贈呈；16,000円 教会記念品；5,199円
合計	250,000	200,000	

- 補助金と助成金で運営する方針で予算を組んだ。
- (公財)広島平和文化センターの補助金が前回(10万円)より減額されたので、制作者招聘謝金(5万円)をカット、予算総額を20万円に減額した。【2月末時点】
- (財)広島国際文化財団平和創造基金をアップして申請した。【5月末時点】
- 「ヒロシマピースグラント2012」は申請額が認められ、実行委員有志の負担無く特別試写会を実施できた。【7月時点】

9.映画完成と公開予定

- 2012年10月完成 (90分作品)
- 2013年国際映画祭に出品 (1月米国ユタ州Sundance映画祭、5月仏国カンヌ国際映画祭)
- 2013年6月日本公開予定

問い合わせ； <http://www.hiroshimaschoolyard.com/>

E-mail； 静美マナーレ shizumidance@starpower.net, 世良 俊邦 ytsera@mx41.tiki.ne.jp